



社長のための 経営雑学

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

第64号

平成27年8月 6日 (木)

発行：久保総合会計事務所

〒536-0006

大阪市城東区野江4丁目11番6号

TEL (06) 6930-6388

FAX (06) 6930-6389

経営コラム

『今の財務無策が、将来に禍根を残します。』
…困っていない今こそ、将来に備えませんか？

■運転資金の調達を希望されておられる社長様からの相談です。

・3年前に借り入れた運転資金2,000万円(公庫・返済済み1,200万円)は、借り換えを行わずに返済のみ行ってきました。
・4年前に借り入れた運転資金1,000万円(保証協会保証付融資・返済済み800万円)も、借り換えを行わずに返済のみ行ってきました。
・直近決算は赤字です。足元は業績回復基調です。
・試算表基準で、事業の回復状況をアカデミックに解説することで、希望金額が調達できました。
過去に借入れた運転資金、2,000万円と1,000万円を、決算終了ごとに巻き直し・借り替えを行っていたら、現在の手元資金はプラス2,000万円程度になっています。今回の資金繰りに対する心配はそもそもしなくて済んだはずですが。

◎銀行融資プランナー協会の運転資金借入れに対する対応方針は…

・運転資金は原則毎年巻き直し・借り替えを行います。当初残高に戻します。
数年前からご縁をいただいておりますが…タラレバ言葉は使いたくないですが、残念です。今回は結果オーライでしたが。

■2年前からリスクを行っており、リスク後も毎月60万円
(リスク前の返済金額は毎月120万円です。)の返済を続けておられる社長様からの相談です。

・直近の決算、足元の業績は厳しい状況です。追加の融資は受けられません。
※面談では、融資が受けられない理由を詳しく解説いたします。
・毎月60万円の返済を、0円に変更するための手続きを行います。
経営改善計画書の策定と、金融機関対応を当所が主体的に行います。
2年前、リスクを行う時に、返済額を0円にしておけば、現在の手元資金はプラス1,440万円になっています。現時点の資金繰りは、はるかに楽なはずですが。

◎銀行融資プランナー協会のリスク対応方針は…

・経営改善計画書を策定し、金融機関との主体的・積極的な対応を行います。
・リスク時においても、最大限手元に現金を残します。
・リスク時は、返済額0円を目指します。
2年前からご縁をいただいておりますが…タラレバ言葉は使いたくないですが、残念です。

■「業績は悪くないのに、新規の融資を断われた」との社長様からの相談です。

・当所の簡易分析においても、融資は実行される条件を概ね満たしています。ボーダーラインですが…
・金融機関に状況を確認すると、融資時の約束が守られていない、との回答です。
※「試算表・資金繰り表・金融機関借入残高推移表等」の提出が義務付けられている融資があります。当社は、1年以上提出を行っていません。
当所が上記資料の最新版を作成して提出し、今後も定期的な提出をお約束して融資の実行に至りました。

◎銀行融資プランナー協会の金融機関対応方針は…

・金融機関への継続モニタリング機能を担います。経営品質の向上は、当社の与信の向上に直結します。
・『資金繰り円滑化サービス(＝財務部長の代行業務)』の一つの機能です。

この様に、金融機関との信頼関係が崩れることで、融資が実行されないケースも少なくありません。今回は結果オーライでしたが。

■過去に策を打っておけば、今困らなかった…このようなケースは少なくありません。過去の財務無策が、現在の資金繰りに重篤な影響を及ぼすこともあります。困っていない今こそ、将来に備えませんか？

銀行融資プランナー協会の正会員事務所である当所は、クライアントに『お金の心配をしない経営を本気で目指してもらう』ことを目標に掲げています。ご遠慮なくご相談ください。